

令和7年度組織目標

部局名	会計管理局
R7年度に特に注力する事項 (目標)	○県民の信頼を支える適正な会計事務の推進 目標： ・研修および審査業務等を通じた指導等による職員の知識向上 ・適切な検査を通じた公共工事の品質の向上 ・庁内連携による県立学校会計事務適正化に向けた取組の推進 ・適正な公金管理、確実かつ効率的な資金運用
	○会計事務のDX化による事務の効率化および県民の利便性向上 目標： ・財務会計システム再構築に向けた着実な取組の実施 ・収入証紙廃止に向けた周知および新たな収入方法の構築
	○入札、契約等における社会政策推進に資する取組の検討 目標： ・入札・契約における社会政策推進に資する取組の検討 ・最低制限価格の設定にかかる検討
	○「滋賀県が締結する契約に関する条例」の取組総括 目標： ・施行後3年間となる成果、課題の把握 ・今後の取組の方向性および具体の取組の検討

所属名	管理課
R7年度に特に注力する事項 (目標)	○会計事務のDX化推進 目標： ・財務会計システム再構築に向けた開発仕様書の確定 ・収入証紙廃止に向けた周知および新たな収入方法の構築
	○社会政策推進に資する調達方法の検討 目標： ・入札・契約における社会政策推進に資する取組の検討 ・最低制限価格の設定にかかる検討
	○「滋賀県が締結する契約に関する条例」の取組総括 目標： ・条例施行から3年間の取組（成果と課題）を総括 ・今後の具体の取組等を検討（取組方針の見直し）
	○【見直し・効率化】競争入札参加資格審査業務の効率化検討 目標： ・他府県の状況を情報収集し、審査項目の精査、確認方法等を見直す。

所属名	工事検査課
R7年度に特に注力する事項 (目標)	○契約の適正な履行を確認する検査の実施
	目標： ・ 中間検査時の指導・助言と完了検査時の履行確認を通じた、公共工事の品質の向上 ・ 監督職員のスキルアップのため、検査における留意事項の提供や工事検査に関する研修の実施
	○【見直し・効率化】リモートワークをフル活用した業務効率の向上
	目標： ・ 工事検査に関連する文書や資料の電子化を促進し、電子決裁やメールによる回覧を有効利用することにより、出張時等のリモートワークを最大限に活用して業務の効率化を目指す。

所属名	会計課
R7年度に特に注力する事項 (目標)	○適正な会計事務の推進
	目標： ・ 日常の審査を通じた、不適正な会計事務処理の防止 ・ 「会計事務基礎講座mini」の早期実施による研修効果の向上および新規採用職員対象研修、ワークショップ型研修等実施内容の充実化 研修開催回数：年間22回以上 事後アンケートによる満足度：平均95%以上 目標： ・ 研修講師の若手職員等起用による審査・指導能力の向上 ・ 共通事務支援システム掲示板等を活用したタイムリーな情報発信、注意喚起の実施による国費会計事務の適正化 ・ マニュアル（会計事務の手引き等）更新における内容の充実化・明瞭化 ・ 庁内連携による県立学校会計事務適正化に向けた取組の推進
	○適正な公金管理・効率的な資金運用
	目標： ・ 資金計画の精度向上および歳計現金の確実かつ有利な方法による管理・運用 ・ 基金の積立・取崩予定の正確な把握、金融情勢の変化を踏まえた確実かつ効率的な運用 ・ 金融情勢に関する情報収集、金融機関の経営状況の把握および専門家の意見等を踏まえた適正なリスク管理
	○【見直し・効率化】審査事務の効率化
	目標： ・ 管理課と連携して会計事務の電子化の検討を進め、審査事務の効率化、ペーパーレス化を図る。